

あとがき

〈編集顧問〉

太田 保 世
諏訪 邦 夫
広沢 弘七郎
堀江 孝 至
村山 正 博

〈編集委員〉

相澤 久 道
石坂 彰 敏
和 泉 徹
小川 聡
永井 良 三
三嶋 理 晃

〈編集協力委員〉

赤石 誠
赤柴 恒 人
北風 政 史
近藤 哲 理
中沢 潔
(五十音順)

医師不足をめぐって、研修制度の功罪がしきりに論じられている。確かに新医師臨床研修制度が、医師不足を招くきっかけになったことは事実である。しかしながら、この制度の導入以前に、医師が充足していたわけではない。わが国では、多くの病院の勤務医の供給は、大学の医局が担ってきた。医局の関連病院として医局会議で認められれば、その病院は半永久的に医師の供給を受けることができた。また、病院側としては、戦力とならない医師は、他の病院へのローテーションを促すことにより、人事を回転させることができた。

一方で、医局の関連病院以外の病院では、慢性的な医師不足であった。また、医局中心の人事は医師の考え方に弾力性が失われがちであった。このため、他大学出身、あるいは同一大学であっても他の医局の医師との協調性に問題のあることがしばしば指摘されてきた。

医師不足を招いたのは、8,000人余りの新医師に対して、13,000人以上の需要を作り出したことである。大きな需給ミスマッチが発生し、研修医の争奪戦が始まった。研修医に対する教育体制を整備してこなかった病院は大きな影響を受けた。大学病院や公的病院では、人件費に余裕がなく、医師の業務を支援する体制が乏しかった。若手医師の雑務は膨大であり、研修医に敬遠されることになった。大学病院の研修医は減少したものの、それ以外の医療機関における研修医数が増加した地域も多いが、医局から派遣された研修医と異なり、定着率の低いことが新たな問題となった。医療事故に対する司法介入や、高い質の医療を求める社会の要求は、勤務医の開業志向や、スタッフの充実した病院志向を助長している。医師を充足できない病院では、残った医師への過重な負担が生まれ、医療崩壊を加速させた。このように考えると、新医師臨床研修制度がきっかけとなったとしても、若い勤務医への過剰な負担で成立している日本の医療体制が崩壊することは、時間の問題であったと考えるべきであろう。

若い医師の臨床医としての自己を確立しようという意欲は、昔も今も変わっていない。したがって、いかなる地域で勤務しても、医師としてのキャリアをつめる体制の構築が、何よりも優先されるべきである。臨床研究に参加できる体制作りも必要である。医師数の不足を補うためには、専門領域にとらわれず、診療の幅を広げるべきであろう。「呼吸」と「循環」の連携はこれからますます重要になるであろう。

(永井良三)

呼吸と循環 (第56巻 第2号)

2008年2月15日発行(毎月1回15日発行)

定価 2,730 円(本体 2,600 円+税 5%)

(2008年、年ぎめ予約購読料 31,800 円)
(税込み、配送料弊社負担)

E-mail: kotojun@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kotojun>

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5703

(担当: 菊池・山崎)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三美印刷株式会社 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (株) 医薬広告社 電話 (03) 3814-1971

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2008, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

IGAKU-SHOIN (株) 日本著作出版権管理システム委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。